

赤十字新聞

The Red Cross Journal Japanese Red Cross Society publication

編集・発行/日本赤十字社 企画広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 TEL.03-3438-1311 一部20円

10

Oct 2009

Vol.833 <http://www.jrc.or.jp>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

健康生活支援講習スタートから6カ月

全国に広がる健康づくりと助け合い



実習する藤原紀香さん



手をとって立ち上がる練習

藤原紀香さんも体験

日本赤十字社が今年4月から開始している「健康生活支援講習」。「すぐに役立つ」「受講しやすい」など参加者から好評で、全国各地に講習が広がっています。8月22日には赤十字広報大使の藤原紀香さんも兵庫県支部で受講しました。

めざせ地域ボランティア

健康生活支援講習は、これまでの「赤十字家庭看護法」講習を再編したもので、高齢期に向けた健康づくりや要介護者の支援・介護の基礎知識を学びます。受講者が健康生活支援員のボランティアとして地域で活躍することも期待されています。

みんなで助け合う気持ちを

8月22日に兵庫県支部で行われた講習会には、県内の地域奉仕団や学生奉仕団のメンバーなど男性1人を含む22人が参加しました。健康生活支援講習指導員の大橋美奈子さんが「日赤が目指す介護は高齢者の自立に向けた介護。その後の、2人1組になって、体の片側がマヒした方をベッドから車いすに移動させたり、車いすを押して段差を昇り降りする実技などを体験しました。」

一般参加者と一緒に実技講習を受けた藤原さんは、「車いすに乗せられて段差の昇り降りをすると不安定ですごく怖いんですね。介護をする側とされる側の両方を体験することで、介護される側に立つことの大切さが分かりました」と感想。「高齢者や障がい者の方が暮らしやすい社会を目指して、困っている人がいたら自然に助け合う気持ちが大切。赤十字のそんな理念を私も広めていきます」と決意を語っています。

(関連記事4、5面)

赤十字シンポジウム RED CROSS SYMPOSIUM 2009

人を思いやる力～キズナの傷んだ世界に～

日時：平成21年10月24日（土）13：30～16：00
場所：東京国際フォーラム ホールB5（東京都千代田区）

日本赤十字社は、国内外で人道問題の解決に取り組む方々をパネリストに招いた「赤十字シンポジウム2009」を開催します。今年も、赤十字の創始者アンリー・デュナンが戦火の中で人道救援に立ちあがってから150年です。しかし、世界ではいまなお紛争や貧困などで多くの命が奪われる日々。シンポジウムでは、一人ひとりの命を大切にできる社会をめざして「人道＝人を思いやる力」についてさまざまな立場から討論。法律的な問題、国際社会の約束、地域や家族、友人とのキズナづくりなどについて考え、いま私たちにできることを探ります。



リベリアの少女兵

出演者

- コーディネーター ジャーナリスト 池上 彰
- パネリスト
 - 東京大学大学院教授 姜 尚中
 - ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表 土井香苗
 - タレント 大沢あかね
 - 日本赤十字秋田看護大学教授 井上忠男



- *申し込み方法 日本赤十字社ホームページ (<http://www.jrc.or.jp>) からお申し込みください。
- *問い合わせ先 日本赤十字社国際部企画課
Tel:03-3437-7087 Fax:03-3435-8509
E-mail: kokusai@jrc.or.jp

シンポジウムは、NHK教育テレビ「日曜フォーラム」
11月29日（日）午後6時～午後7時 放送予定

本社で70台目の贈呈記念式典



大鵬号贈呈式で元横綱・大鵬の納谷幸喜さん

40年間ありがとうございました

愛と血液を全国に 運び続ける「大鵬号」

大相撲元横綱・大鵬の納谷幸喜さん（69歳）が現役時代から40年間続けてきた献血運搬車「大鵬号」の寄贈が70台目となり、9月7日に日本赤十字社本社で贈呈記念式典を開催しました。節目の台数に達したことや、納谷さんが来年70歳を迎えることなどから、今回が最後の寄贈となりました。記念式典は、赤十字奉仕団員や職員など約250人が出席。大きな拍手で迎えられた納谷さんは「現役を引退したとき以上に感無量の気持ちと目を潤ませていました。」（関連記事7面）

贈りできたことをありがたく思っています。元気なうちは何らかの形で社会のために寄付をしていきます」とあいさつ。近衛忠輝社長が「献血運搬車は命をつなぐリレーのランナーです。40年間本当にありがとうございました」と感謝の言葉を述べました。各地の血液センターから届いた感謝のメッセージが紹介されたあと、献血のイメージソング「いのちのリズム」を本社の合唱サークルと出席者全員により大合唱しました。

人間の命と尊厳を守る 人道教育を学校で



EHL教材より「勇敢な店主」
 <事例>
 少年グループ同士の争いで、集団に襲われた少年が街角の小さな商店に逃げてきた。襲ってきた少年の集団は店の常連客だが、店主は逃げた少年をかくまった。
 <質問>
 逃げた少年を見たとき、店主には他にどんな選択肢があったか？ それぞれの選択肢の結果はどうだったか？
 このようなケーススタディから人道を学びます。

初の国際人道法コース開催 青少年赤十字の講習会

日本赤十字社は8月5〜8日、平成21年度青少年赤十字(JRC)指導者中央講習会を静岡県御殿場市で開催し

した。今回は、国際人道法普及のための教育プログラム「人道法の探求(EHL: Exploring Humanitarian Law)」を学ぶコースが初の試みとして設けられました。

EHLは、学校教育を通じて国際人道法を普及するため、赤十字国際委員会(ICRC)が作成した指導者向け教材。2005年に日本語版が発行された。国際人道法の条文学習にとどまらず、日常生活での事例などから人として取るべき行動を考え、国際人道法がその延長線上にあることを学ぶのが特色です。講習会では、今回特別に作成された日本語吹き替え版生徒向けビデオへの反響が特に大きく、体験授業で放映した際には涙を流しながら見入る参加者の姿もありました。

普段身近に感じることのない国際人道法について、はじめはとまどう参加者も見られましたが、講習会で学ぶ中で「人間の命や尊厳を守ることがJRCの目的に通じる」、「生徒が日常生活で命の大切さや人とのつながり、思いやりの心などを学ぶ上で、大いに活用できるのではないかと」という意見も出されました。

日赤では今後、JRC指導者がEHLに触れる機会を増やすと同時に、文部科学省にもEHL活用事例を紹介していきます。また、日本の学校教育の実情に沿った、より使いやすいEHLプログラムの開発も検討する予定です。

地震に負けないで頑張つて！

子どもたちが笑顔で交流

山梨県JRCメンバーが中国へ視察旅行

山梨県内で活動する青少年赤十字(JRC)の小中学校生と指導者らが7月23〜29日、昨年5月の大地震に見舞われた中国・四川省を訪問し、被災地の視察と現地の小学生らとの交流を行いました。

RC指導者協議会の主催。児童生徒5人を含む、9人が参加しました。地震の被害が激しかった綿陽市などは今も復興の途上にあります。山崩れや崩壊した建物など被災現場を目の当たりにした参加者は、自然の猛威と被害の大きさを改めて実感しました。

視察研修に参加した高校生は「中国で見てきたもの、感じたことをたくさんの人に伝えたい」と述べています。

え、少しでも多くの人に現在の中国の状態を理解してもらいたい」と述べています。

笑顔のために 私たちができること

身延山高等学校
2年生 山上亜由実さん

被害が大きかった封鎖地域の中へ入ったときに私が思ったのは、「すごい！ただただそれだけでした。」

被災地の小学校を訪問しましたが、その生徒たちは皆が楽しそうに笑っていました。小学生の笑顔はこちらまで笑い出したくなるような素敵なものでした。この笑顔からは、震災のために何度もつらさや苦しさを経験し、そしてそれを乗り越えてきた強さも感じました。

日本へ帰ってきてからは、震災の被害からあの小学生たちに笑顔が戻るまでどれだけの時間がかかったのか、あの笑顔が泣き顔にならないようするためにはどうすれば良いのかを考えました。



日中の友好を祈って記念植樹。
瓦子小学校で中央が山上さん

私たちの学校では、四川地震に対する募金を昨年の5月から6月に行いましたが、それ以降は何もしていません。今回の中国研修でいまだに復興できていないところがあるので、そのことを全校生徒に伝えていきます。

他に何かできることがあるのではないかと、どうすれば困っている人たちとともに回復・復興に向かっていけるのかも、考えたいと思います。

山本正淑日本赤十字社名誉社長死去

近衛忠輝社長が弔辞

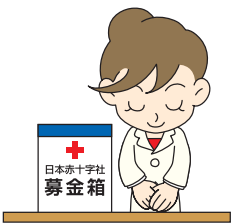


日本赤十字社名誉社長の山本正淑さんが9月5日、脳出血のため死去(享年93)

歳)。都内で行われた告別式で近衛忠輝社長が「残された役員一同、思いを新たに赤十字活動に邁進することをお誓い申し上げます」と弔辞を述べました。

山本さんは厚生事務次官などを経て、昭和53年から日本赤十字社の常任理事、昭和62年から平成8年まで社長を務めました。社長在任中に勃発した平成3年の湾岸戦争では救護班をシリアに派遣、平成7年の阪神・淡路大震災の際には被災者救護の陣頭指揮を取るなど、強い指導力で日本赤十字社の発展に貢献されました。

台風、大雨被害 全国から被災地支援の義援金



7、8月の台風、大雨で被害を受けた各被災地への義援金受け付けは9月末までにすべて終了しました。皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。義援金の募集状況は以下の通りです。

- ①兵庫県台風第9号災害義援金=5420万746円(2963件、9月16日現在)
- ②台風9号岡山県大雨災害義援金=1987万2374円(1273件、9月16日現在)
- ③山口県7・21大雨災害義援金=9836万2219円(4651件)
- ④福岡県7月豪雨災害義援金=5536万2561円(2543件)

常任理事会開催報告

平成21年9月18日、東京プリンスホテルにおいて平成21年度第5回の常任理事会が開催されました。

今回は、徳島赤十字のみのね総合療育センター増改築工事計画、地域医療再生臨時特例交付金の活用、ミャンマーサイクロン及び中国大地震に対する日本赤十字社の被災者支援、平成21年度大鵬号贈呈式実施報告、新型インフルエンザ、予算の補正にかかる7月及び8月分の社長専決事項の決定状況について、それぞれ報告しました。

さい帯血バンクネットワーク10周年

秋篠宮ご夫妻出席 白血病治療などへさらなる期待



記念式典後の会場でさい帯血に関するパネルを熱心に見学される秋篠宮ご夫妻

「日本さい帯血バンクネットワーク」の設立10周年記念式典が8月29日、東京都新宿区の早稲田大学国際会議場で行われ、秋篠宮殿下・同妃殿下が出席されました。日本赤

十字社は同ネットワークの事務局をつとめています。殿下は「白血病などが、さい帯血移植によって治療する可能性が与えられることも、病気を克服して社会に復

帰された方も多数おられます。さい帯血バンクの活動や医療技術の進歩によってのことであり、関係者の尽力に深く敬意を表したいと思えます」とお言葉を述べられました。

大林素子さんが 献血を呼びかけ

「献血と骨髄バンクのドナー登録にご協力下さい」――8月27日、歌手で女優の刀根万里子さんと元女子バレーボール全日本代表でタレントの大林素子さんが、有楽町献血ルーム（東京都千代田区）がある交通会館前広場で献血を呼びかけました。9月中旬に上演された舞台『IMAGINE 9・11』の出演者や関係者の協力で実施されたもので

2001年の米同時多発テロ直後、3人の日本人患者を救うためにアメリカから日本へ骨髄液が緊急搬送された実話をベースに作られたのがこの舞台。出演者から「ドナー



献血を呼びかける大林素子さん

「輸血を受けた彼は献血に感謝していた。自分が必要としている人がいることを想像してほしい」と語っています。

白血病や再生不良性貧血などの治療法には、骨髄液を移植する骨髄移植が知られています。出産時に母親と胎児を結ぶさい帯と胎盤に含まれる血液にさい帯血にも赤血球や白血球、血小板などをつくる造血幹細胞が含まれていて、骨髄と同様に病気の治療にいられています。

国はさい帯血移植事業を進めるため、1999年8月に「日本さい帯血バンクネットワーク」を設立。財政支援をしています。

日本さい帯血バンクネットワーク事務局は、全国にある

11のさい帯血バンクが保存するさい帯血の情報を一元管理し、スムーズな移植へのサポート

1ト業務を行っています。09年6月末現在、さい帯血バンクを介したわが国の非血

縁者間さい帯血移植症例は、累計で5400例を超えました。

▼プロフィール
昭和22年生まれ、栃木県出身。元厚生労働事務次官。平成17年から日本赤十字社副社長。趣味は読書で、自身の読書遍歴をまとめた「遊歩入夢 文庫の香り」（弓立社）の著書がある。



知ってますか、山賊の歌

「山賊の歌」という歌を知っていますか？

雨が降れば小川ができ
風が吹けば山ができる
……………

私と似たような年代の方なら誰でも、若いころに歌ったことがあるはず。例えばキャンプファイヤーなどで合唱するような場面では、必ずこの歌が登場しました。

ところが何と、それは赤十字の大先輩によって作られたものだったのです。ごく最近そのことを知って、ほんとうに驚きました。しかも、現在も後輩の指導・育成などに当たっておられ、日頃よくお目にかかる方だったのです。

そこで、ご本人にお聞きしてみました。彼が青年赤十字奉仕団の一員だったころ、訪問活動をしていた児童福祉施設の子供たちが学芸会で劇をやることになったのだそうです。その劇のために作った子供向けの楽しい曲がこの「山賊の歌」。それが、不思議なことに、まず遠く九州地域で

広まり、さらに、著名な男性コーラス・グループのダーク・ダックスに取り上げられて、全国に広がったといえます。

未曾有の規模のスマトラ島沖地震・津波に見舞われたインドネシア。被災した人々を励ました五輪真弓さんの「心の友」は、同国では「第二の国歌」と言われているとか。

日本でも、新潟県中越・中越沖地震被災地の人々を勇気づけたのが、平原綾香さんの大ヒット曲「Jupiter」。

歌の力って凄いですね。今年、献血のイメージソングができました。夏川りみさんが歌う「いのちのリズム」。とても素敵な曲です。多くの人に歌ってほしいものです。

「山賊の歌」のように、赤十字活動の中から生まれた歌が、全国の人々の間で歌われる……。夢みたく話ですが、考えただけでワクワクしてしまいます。あなたもチャレンジしてみませんか。

この「ブログ」へのご意見歓迎します。メール・アドレス otsukablog@jrc.or.jpです。

防ごうインフルエンザ しつこく確認！ 4つの基本対策

新型インフルエンザの本格的流行に対して、感染の予防や拡大防止の徹底が重要になっています。インフルエンザの主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。

飛沫感染とは、感染した人が咳やくしゃみをするなどで排せられたウイルスを、他の人が鼻や口から吸い込み感染すること。接触感染は、感染者が咳やくしゃみなどを押さえた手でドアノブやスイッチなどを触り、そこを触れた人が、その手で自分の目や鼻、口を触ることで感染すること

をいいます。感染を予防するには、症状のある人に近づかない、人込みを避ける、手指を清潔に保つなどが大切です。次の4つのポイントを心がけましょ

うがいの効用については賛否があります。ただし、うがいをした場合の方がしなかつた場合に比べて、発症率が40%も低下したという研究報告もあります。

正しい手洗いの方法



① 指先を流水でぬらす
② 石けん液をとり出す
③ 手の平と手の平をこすり、よく泡立てる
④ 手の甲をもう片方の手の平でこする（両手）
⑤ 指を組んで両手の指の間をこする
⑥ 親指をもう片方の手で包みこする（両手）
⑦ 指先をもう片方の手の平をこする（両手）
⑧ 必要な場合は、爪ブラシを使って指先を洗う
⑨ 両手首まで洗いぬいでこする
⑩ 流水でよくすすぐ
⑪ 親指をもう片方の手で包みこする（両手）
⑫ 指先をもう片方の手の平をこする（両手）

情報提供：サラヤ（株）

自分が感染していないときは手洗いによって接触感染を防ぎ、感染している場合には周囲の人に感染が拡大するのを防ぎます。せっけんをよくあわ立て、手の平、手の甲、指、指の間、つめ、手首などをよく洗いましょ。速乾性のアルコール製剤による消毒も有効とされています。

＜マスクの着用＞

マスクを着用することによって、咳やくしゃみによる飛沫の拡散を防ぎ、感染拡大を防止します。不織布製マスクには感冒用と花粉用があり、感冒用が勧められています。説明書をよく読み、マスクを顔やあごにきちんとフィットさせるなど、正しく着用しましょう。

仲間と学んだ夏のトレセン 子どももたちの成長を応援

集団生活の中で赤十字について学びながら、リーダーシップやボランティア精神を育む青少年赤十字(JRC)トレーニングセンター。今年の夏も全国各地でさまざまなプログラムが展開されました。最初は緊張していた子どもたちも、最終日が近づく頃には自分から行動する積極的な姿勢が見られるようになるなど、たくましく成長し研修を終えました。

気づき、考え、実行する！

広島県支部は、広島青少年スポーツセンターなどで8月17日から22日まで開催。小学生から高校生までの71人が参加しました。小学校の部では、車いすや点字、手話、高齢者

体に重りを装着し、視野が狭くなる色つきゴーグルをかけた高齢者疑似体験(広島)



目が見えないので歩くのもこわ(栃木)



毛布を使って搬送体験(香川)



ロープワークに挑戦(和歌山)

ワークに挑戦しました。

香川県支部は、8月7日から3日間、五色台少年自然センターで開催し、15校から約60人の小中学生が参加しました。フィールドワークでは担架搬送を学習。ワークショップでは環境問題や救急法をテーマにした劇を披露しました。

岡山県支部は8月4日から10日、岡山県青少年教育センター閉谷学校で、小中学生と高校生のグループに分けて実施。16校73人が参加しました。期間中、子どもたちは掲示板と時計を見ながら自主的に行動。より快適に生活できるアイデアを出し合うなど、自らが「気づき、考え、実行する」を実践しました。

神奈川県支部では7月30日から3週間にわたり小中高ごとに開催。救急法の基礎を学んだほかボランティア活動の基本となる「気づき」を身につける研修を行いました。

カルタを使い国際人道法を学ぶユニークな講座を行ったのは京都府支部です。8月6日から9日に、宇治市総合野外活動センターで実施し、70校の108人が参加しました。カルタは敵・味方どちらも助ける公平さなど赤十字の基本原則が書かれたもの。「知らないうちに赤十字の原則が覚えられました」などの感想が出されました。

赤十字の現場から



新型インフルエンザの国内侵入を阻止するため5月に国内主要空港で実施され



た検疫作業に日本赤十字社の医師・看護師20人が派遣され、その貢献に対して8月27日、厚生労働大臣から

感謝状が贈られました。後藤医師は、中部国際空港での機内検疫にあたった一人です。

新型インフルエンザ侵入阻止の機内検疫を行うと聞いた時、「感染するかも」とは多少なりとも考えました。ただ、検疫作業は完全

「院内の協力あつての派遣業務」

名古屋第二赤十字病院医師(移植・内分泌外科) 後藤憲彦

新型インフルエンザはありませぬ。しかし、マスクを着けた完全防備状態は息をするのもつらく、気分が悪くなることも。作業終了時にはどっと疲れが出ました。確認。その後、一人ひとりの問診をさせていただきます。1機で2時間程度かかりますから、乗客の方も大変でした。中には不快感をあらわにす

泥と汗の復旧活動に感謝の声

山口



献血された方にきき氷をサービスするなど「夏まつり」をもちあげた

7月21日からの大雨で土砂による主要道路の寸断や家屋の崩壊など大きな被害を受けた山口県。赤十字防災ボランティアリーダーは山口市災害ボランティアセンターの要請を受け、各地からのボランティアの指揮を行いました。

一般ボランティアによる復旧作業の手伝いが始まったのは8月から。家屋から土砂をかき出す作業を7日間にわた

「一粒の種」の歌声に生きる

沖繩

8月13日、沖縄赤十字病院の待合ロビーで宮古島出身の歌手砂川恵理歌さんのミニコンサートが開催されました。



砂川さんは元看護師

どで脱毛した患者さんに使いやすい肌やさしいタオル帽子の製作です。患者さんの頭皮にやさしくするため、タオル帽子はボランティアによる手縫い。絵柄の出方など外観にもこだわりました。モニターとして使った患者さんからは、「派手かなと思っただけ顔が明るくなってよかった」「自分でも作ってみたい」などの声が寄せられています。

患者さんを明るく包むタオル帽子

三重



最近、病院内で話題の取り組みが、化学療法副作用な

7大学の学生パワーで献血推進

福岡

福岡学生献血推進協議会は8月29日、街頭献血サマーカーンペーン「博多献血夏まつり2009」を福岡市中央区天神の警固公園で開きました。同協議会は、県内7大学の学生で組織され、年間を通

じてさまざまな献血推進運動を展開しています。44人のメンバーが揃いのTシャツや浴衣姿で献血を呼びかけ、163人が献血。骨髄バンクドナーには50人が登録しました。

同協議会代表の九州工業大学の岩切一晃さんは、「違う大学や協賛企業の人とコミュニケーションする中で学ぶことがたくさんある」と話しています。



朝から夕方まで猛暑の中での作業

「一粒の種」の歌声に生きる。私もう一度一粒の種になるよ/生きてよかった

防災訓練で 米赤十字社とクロス

青森



青森県支部は8月29日、青森県三沢市で行われた青森県総合防災訓練で、米赤十字社三沢基地支部と連携し、国

民保護計画での外国人安否調査訓練を実施しました。米赤十字社三沢基地支部は、米国人とその家族約1万人が生活している、災害時などには米国人などからの安否依頼が想定されます。三沢

ラジオで

奉仕団活動アピール

徳島

徳島市を中心に放送されているFMラジオ局「エフエムびざん」に、徳島市内4つの赤十字奉仕団の委員長が出演。防災活動や日頃のボラン

ティア活動などについて紹介しました。各奉仕団では、災害時の炊き出し訓練や小学校への出前講習、地域のゴミ拾いなどに



トークもなめらかな委員長4人

取り組んでいます。今回、地元メディアで奉仕団の姿が紹介されたことで、赤十字活動が同じ町で暮らす奉仕団員に支えられていることを多くのリスナーに届けることができました。

心からの寄付に感謝

有功会が30周年で
災害救援車両を寄贈

馬群



贈呈式でカギを手渡す有功会の牛久保昭昭会長（右）

群馬県赤十字有功会は8月25日、設立30周年を記念して群馬県支部に災害救援車両1

台を寄贈しました。群馬県赤十字有功会は昭和54年に76人の有志で結成され、今年で設立30年。活動は年々活発化し、会員数は950人を超えました。



スーパー前で募金

エプロンパワーで
義援金21万円

崎宮

延岡市赤十字奉仕団の40人は8月18日、7月の山口県大雨災害と福岡県豪雨災害の被

災者のための義援金募金を市内7カ所で行いました。おそろいの赤十字マーク入りのエプロン姿での呼びかけに約21万円の義援金が集まりました。

黒木さんは今年の東京マラソンに参加。その際、タレントの松村邦洋さんがAEDを用いた救命措置で一命を取りとめたことを目の当たりにし、奇蹟を思い立ったとい

右から2人目が黒木さん。右端は県知事でもある森田健作支部長



ます。「少年野球などスポーツに励む子どもたちの命を守るために役に立てて欲しい」と語っています。

クロスアクト ひとつ

「ファンの方々の声援にお返しを」と始めた献血運搬車の寄贈ですが、これで最後の1台。感無量です」

第一号の献血運搬車「大鵬号」を寄贈したのは昭和44年。脳梗塞で倒れた2年間を除き、毎年寄贈を続け、9月7日に70台目を日本赤十字社に贈りました。

身も来年で70歳を迎えることから寄贈は最後に。70台目は納谷さんの地元、江東区にある東京都赤十字血液センターに配備されます。

これまで全国の赤十字血液センターに贈られた69台の大鵬号の総走行距離は地球165周分に相当する約658万キロ。現在も12台が現役で走っています。区切りの70台となり、ご自

「40年間続けてこられたのは、ファンの皆さんの協力があったことです。各都道府県に1台ずつ寄贈したいという夢もかなえられました。相撲界に入ったからこそのことですね」

「変な時に相撲界に入った。それまで口ではいえないことをいっばい味わってきたから、相撲ではつらいと思っただけではない」といいます。それでも結果



旧社屋の時代から続けられている

大鵬号が全国を走る

昭和42年の結婚の際に芳子夫人と「幸せをみなさんと分かち合いたい。社会やファンに恩返しをしたい」と話し合い、慈善活動をはじめました。大鵬号の寄贈は最後になりましたが、これからも世の中のために役立つことをしていきたいと話します。

親方としても引退し、今は相撲界を一步離れた場所から土俵を見る納谷さん。後輩の力士たちを温かく見守っていくこともライフワークです。

「若い力士には相撲でがんばってほしい。私が40年間、大鵬号の寄贈を続けてきたように、毎日同じことを繰り返す中で必ず得るものがあるはず。日々の稽古を一生懸命して、ファンに応えることが力士の仕事です」

◆実行が大切——伊関浩一さん(喜多方市)
災害時救護活動のスタートが我が福島県だったことを知りました。知るだけでなく実行することが大切と痛感しました。

◆三角巾が役立っています——中平桂子さん(大阪狭山市)
30年前、大学生の時に受けた赤十字救急法講義で覚えた三角巾の使い方が、今も役立っています。

◆若い人たちの姿に感心——坪郷昭さん(防府市)
先日の山口県の水害ボランティアに参加しました。たくさんの方の若い人達の協力に感心しました。

Voice & 懸賞クイズ

◆役に立つこと始めます——松崎文香さん(坂井市)
笑顔の大切さを改めて実感。私も何か役に立つことを始めてみようと思います。

◆「Voice」と懸賞クイズの応募方法
クイズ問題①の解答に意見や感想を添えて、葉書、FAXまたはメールでお送り下さい。応募締め切りは10月15日(必着)です。お名前、連絡先(住所、電話番号)を明記して下さい。

★今月号のプレゼント
「赤十字限定 コスチュームキューピー」4種類(救護服奉仕団、ナース、献血車)の中から1種類ずつ4名様に(コスチュームは選べません)。



コスチュームキューピーストラップ



9月号懸賞クイズの答え
問題① 10888
問題② ナイチンゲール
当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

大相撲元横綱・大鵬の 納谷 幸喜さん

道に引き揚げ、苦勞して力士になった納谷さん。「戦後の大

社会やファンに恩返し

支援事業の屋台骨支えています!

内戦が終わったスリランカ 現地からレポート



2004年のスマトラ島沖地震・津波災害で死傷者5万8000人、家屋被害9万8000戸という大被害を受けたスリランカ。日本赤十字社では2005年から5年計画の長期復興支援に日本から5人、現地スタッフ11人という体制で取り組んでいます。この支援事業を裏で支えているのが事務管理要員。普段注目されることのないクロコ的な存在です。5人の内の1人、松本直美さんが現地スリランカの状況をレポートしてくれました。

◆ロジスティックは事業の屋台骨



松本直美さん

スリランカに来て1年半。日赤の支援事業に携わっているとはいえ、私が事業地の住民と話す機会などはあまりありません。そんな地味な存在の事務管理要員ですが、これがしっかりしていないと、日々の支援は進まない。支援事業の屋台骨のような仕事が、私に与えられた任務です。

例えば、今回のような中長期の支援事業では、雇用契約をきちんと結んだ上で現地スタッフを雇います。彼らの給与・残業代の支払い、年金や医療保険の手続きなどを処理するのが私の仕事。事業要員が現場へ行くための配車やタイヤ交換の手配などロジスティック(後方支援)と呼ばれる仕事もあります。

情報収集も欠かせません。他国の赤十字社スタッフや日本のNGOとは情報交換を心がけています。車のドライバーとの雑談から、新聞に載っていない生の現地情報が聞けることもあるので、これも意外に重要です。

◆「内戦」を実感させられる

スリランカの内戦は今年5月に終結したばかりです。私が着任する直前の2008年2月頃には、政府と反政府組織の停戦合意が破られ、北部でのゲリラ戦が再開されました。比較的安全だった首都コロンボでも市民が通勤に使う電車やバスを標的にした爆弾テロが発生する事態になっていました。

そのため赤十字の国際スタッフが公共交通機関を使うことが禁止になり、私も事務所への通勤に車の送り迎えをいただいています。市内のあらゆる場所に設置された検問所では、「パスポートを見せて下さい」という身元確認をしつこいほど受けなければなりません。



重要な情報もくれるドライバーなど、現地スタッフ

人。警備に多数配備されている迷彩服姿の軍人を見るたびに、内戦の国にいることを実感させられます。

◆異教徒への寛容精神を政策レベルで

スリランカは多民族国家。国教は仏教ですが、ヒンドゥー教、イスラム教、キリスト教の世界4大宗教が集まっています。

内戦の原因として、多数派である仏教徒のシンハラ人と、少数派のヒンドゥー教徒タミル人の対立が指摘されています。でも、私からみれば、住民の間では、他宗教との共存がうまくいっている印象です。異教徒間の結婚も珍しくありません。日赤車輛のドライバー兄弟はキリスト教徒ですが、ヒンドゥー教徒の女性と結婚。私が住むアパートの管理人は仏教徒ですが、イスラム教徒の女性と結婚しています。結婚後もお互い改宗せず、それぞれ



宗教の融和を促すポスター

復興支援事業 in スリランカ

◆住宅再建事業

将来の津波被害を防ぐため、沿岸地帯が住宅再建禁止区域に指定されました。この区域内の被災者に対して、日赤は内陸部に363戸の住宅を建設。住宅再建が禁止されていない地域の被災者706世帯に、自力再建の資金提供を行いました。

◆保健医療衛生事業

被災地の2つの県で病院2施設の建設を進めています。保健衛生の改善事業や移動眼科検診を実施し、トリンコマレー県では3万2000人が受診し、1613人に白内障手術を実施しました。

スリランカってどんな国?

★朝からカレーです

スリランカは北海道ほどの面積のセイロン島(セイロン紅茶の名前はここからつきました)に約2000万人が暮らしています。首都コロンボは海沿いの町。食事の基本は3食カレー!日本のカレーとの違いは、豆カレー、かぼちゃカレーなど具材が1種類であること。魚やエビなどシーフードのカレーも多い。

★花が咲きフルーツも美味

赤道のすぐ近くに位置するスリランカは熱帯の国。日本では高価なフルーツがとても安く、好きなだけ食べられます。花が街に咲き乱れているのも特徴。松本さんが北東部へ出張した際には、ホテルの部屋に色とりどりの花で「グッドラック」のメッセージが用意されていて感激したそうです。「次の日、ドアボーイさんにしっかりチップを請求されましたが…」



スリランカにおける移動眼科検診

◆被災児童・教育支援事業

教育環境改善のため、文房具5万4000セットやスポーツ用具を支援。民族間の相互理解と友好を深めるため、相互の言語を学ぶ語学プログラムを実施し、1650人の子どもが受講しました。

台湾襲った台風8号

被災者救援に紅十字ボランティア 1700人 救援金で住宅再建



8月7日台湾に上陸後、西へ

8月上旬に発生した台風8号の直撃を受けた台湾では、大規模な土砂崩れや洪水によって死者・行方不明者500人以上という甚大な被害を被りました。この事態に、台湾紅十字会(=赤十字社)は被災者の救援活動に1700人以上のボランティアを動員。近隣各国の赤十字社も支援活動を行いました。

「この地域では毎年台風が上陸しますが、こんなに大きなものは初めてです」と語るのは台湾紅十字会のツイ・ジャンチンさん。台湾紅十字会では、被災者ケアや救援物資の

配付、医療補助などを展開しました。ツイさんもボランティアと一緒に、被災者救援にあたりました。

台湾紅十字会には、日本円にして約72億円(8月24日現在)の義援金が市民から寄せられましたが、紅十字会ではこの大半を被災者の住宅再建にあてる方針。仮設住宅(最大1800戸)に加えて、恒久住宅(最大1600戸)を2年以内に完成させる計画です。

日本赤十字社では8月20日から1カ月間救援金募集を行い、2448万3443円(9月18日現



台風による洪水被害後のがれきを片づける人々(中国©Francis Markus/IFRC)

在)が寄せられました。この救援金は台湾紅十字会へ送られ、被災者の住宅支援にあてる予定です。

また、中国紅十字会、香港紅十字会からもそれぞれ日本円にして5億数千万円相当の支援が台湾紅十字会へ寄せられました。